

小学校
低学年

図書館員がおすすめる本



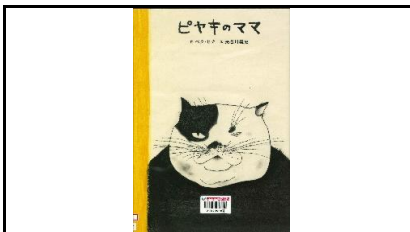
★ 発行：志布志市立図書館
★ お問い合わせ先：099-472-3322



「まじよばーのたまごやき」
820901718

文研出版
堀直子／作 木村いこ／絵

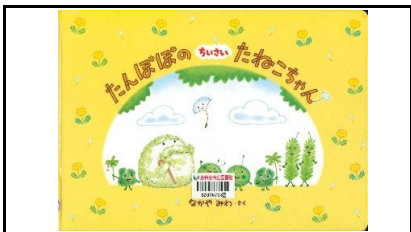
一年生の時にお母さんがなくなった。ぼくのおばあちゃんはまじよです。ある日、ぼくとお父さんは、まじよばーとたまごやきたいけつをして、かったほうとぼくは住むことになる。りょうり上手なまじよばーだけど、ぼくはお父さんといっしょにいたい。たいけつのけっかは？そして、まじよばーは…。せつなくてやさしいお話。



「ピヤキのママ」
820909984

ブロンズ新社
ペク・ヒナ／作 長谷川義史／訳

やっかいもののネコ「ニャンイ」。ある日おなかのちょうしがわるくて、トイレのすなばでなんと！ひよこをうんじやいます！！ビックリ！！
ニャンイはひよこのなまえをピヤキとつけました。ニャンイはピヤキのためにいっしょうけんめいせわをやきます。たまらなく楽しい気分が心がホンワカするお話です。



「たんぼぼのちいさいたねこちゃん」
820907087

学研教育みらい
なかやみわ／さく

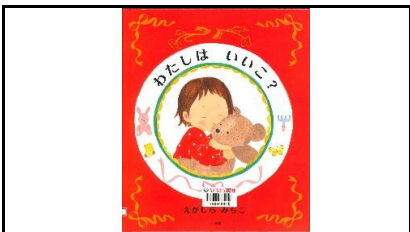
たんぼぼのちいさいわた毛のたねこちゃんは、風によつとび立つ自しんがありません。「むりよ、むり！」。でもある日すずめがやってきて、たねこちゃんのためにはじまります。はらはらどきどきするけれど、ゆう気をもらえる1さつです。



「まんまるダイズみそづくり」
820860716

福音館書店
ミノオカリヨウスケ／さく

ふだん、なにげなく食べているおみそしる。でも、そもそも「みそ」ってなに？この本では「みそ」の作り方やすごさをたくさん知ることができます。いつものおみそしるが、さらにおいしくなることまちがいないし！



「わたしはいいこ？」
820908341

小学館
えがしらみちこ／作

みんなが言う「いいこ」って、なんだろう。いいこでいるのはちよびりつかれるときもある。でもママの「いいこでもいいこでなくても、大好きよ」ということばにホッとあんしんするのでした。



「いもうとなんかいらぬ」
820912483

岩波書店
ロイス・ダンカン／作 小宮由／訳
平澤朋子／絵

あなたは、きょうだいがありますか？メアリー・ケイは、おねえちゃんです。いつもいもうとにあそびのじやまをされて、あることを思いつきます。うまいくのかな…？きょうだいの大切さがわかる一さつです。



「げたばこかいぎ」
820906089

PHP研究所
村上しいこ／作 高島那生／絵

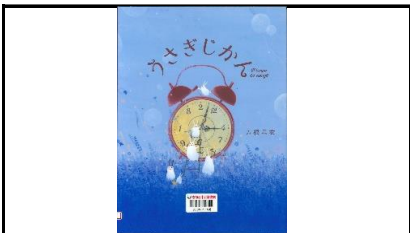
ある夜、はるとくんは、かぞくみんなのくつたちがあつまる「げたばこかいぎ」で、パパのかわぐつがくさいことをつたえて、言われてしまいました。だけど、パパのくつがくさいのには、りゆうがあるんです。



「やまねこのこんにちは」
820865905

あかね書房
はせがわさとみ／作

森のおくの小さな家に引っこしたやまねこ。どうぶつたちがなかよくわき話をしてるのを聞いてしまい…。あいさつに行こうとがんばるねこ。すてきにあいさつできるでしょうか！？森のなかまたちのむじやきでやさしいやりとりが楽しいお話です。



「うさぎじかん」
820901551

NHK出版
刀根里衣／著

うさぎじかんのせかいへようこそ。うさぎたちと、のんびりとおだやかな時間をすごしてみませんか？あせらずゆっくり、じぶんのテンポでいきていこう。



「かえるのほんや」
820909281

PHP研究所
やぎたまこ／作・絵

かえるによるかえるのための本やさんっていったいどんなところ…？かえるならではののおもしろい本やさんのようすや、本を売るだけじゃない、本にかんけいするいろいろなおしごとを知ることできます。



「りりかさんのぬいぐるみ診療所」
空色のルリエル 820900884
わたしのねこちゃん 820909471

講談社
かんの ゆうこ／作 北見 葉胡／絵

大好きなぬいぐるみは、かわいがるほどによごれてやぶれてしまう。りりかさんは、大人になってそんなぬいぐるみをちりょうするしりょう所をつくりました。まるで、生きているようなすがたに直してくれる。そんなやさしいりりかさんには、ひみつがあります。心やさしくなれるお話です。



「ぼくんちのねこのはなし」
820901783

くもん出版
いとう みく／作 祖敷 大輔／絵

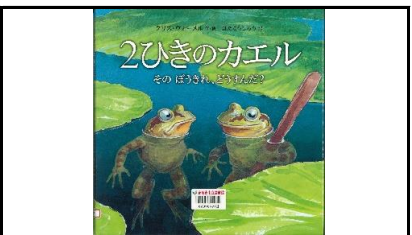
「ぼくんちのねこ」は16さい。人間だとおじいちゃん。このごろ元気がない。ごはんも食べない。ねているばかり。
ぼくが生まれる前からそばにいた、ことらのかん病をお母さんとぼくは心をこめてがんばる。
そしてことらは・・・。



「メガネくんとハダシくん」
820846400

偕成社
二見 正直／さく

せいかくも好きなものも、朝ごはんを食べるときの服そうも全然ちがう2頭のくま。時にはケンカしてしまったり、それでもおたがいのマネをしてみたりしながら、さらに仲を深めていく、じんわり温かいお話です。



「2ひきのカエル」
そのぼうきれ、どうすんだ？
820909992

徳間書店
クリス・ウォーメル／作・絵
はた こうしろう／訳

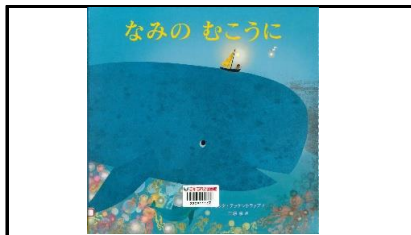
大きな池に2匹のカエルがいました。その2匹のやりとりが、ユーモラスに楽しくえがかれています。「そなえあればうれしいなし」の言葉がげんじつとなります。



「夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの」
820865400

あかね書房
濱野 京子／作 森川 泉／絵

主人公は本好きで日々図書館に入りびたる少年。彼は人に本をすすめるのがとく意。夏休みになり、色んな事じょうをかかえて図書館に足を運ぶ利用者。本にきょうみがなくても、図書館との出会いで知らない世界や人とふれあう大切さを教えてくれる一冊です。



「なみのむこうに」
820911147

BL出版
ブリッタ・テッケントラップ／作
三原 泉／訳

エラは一人ぼっちで小さなふねの上。不安なエラに海の中から声が聞こえました。鳥やイルカもやってきて・・・。だれでも不安になるときがあるけれど、きっとだれかが助けてくれる。希望を感じさせてくれる絵本。



「おひさまのハンカチ」
820910784

講談社
茂市 久美子／作 よしざわ けいこ／絵

なわとびが苦手なさりなは、「おひさま」というお店でお友達のみおちゃんと同じなわとびをみつけましたが、さりなが手に取ったのは、ハンカチでした。そのハンカチのおかげで、すなおにあやまり仲直りができて、なわとびも練習して飛べるように・・・。この物語は、物を大切に心やお友達とのきずなに気づかせてくれます。



「ワニのガルド」
820912269

偕成社
おーなり 由子／作・絵

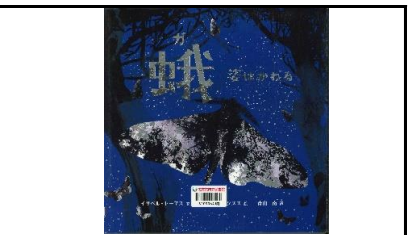
ひっこしたばかりのヒナちゃんは、まだクラスに仲のいい子がいません。学校にいきたいなと思っていたある朝、とつぜんワニのガルドがあらわれて、ヒナちゃんの毎日が変わっていきます。なんかさびしいな、と思ったとき何回でもよみかえてほしい本です。



「モノのなまえ事典」
まだある！！アレにもコレにも！
820886562

ポプラ社
杉村 喜光／文 大崎 メグミ／絵


食パンの耳の正式な名前を知っていますか？見たことあるけど名前があったことにビックリするモノの名前がたくさんついています。意味までのっているののでクイズ形式で楽しめます。



「蛾」
姿はかわる
820906410

化学同人
イザベル・トーマス／文 ダニエル・イグナス／絵 青山 南／訳

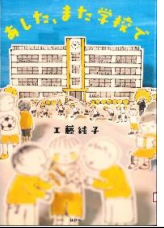
「オオシモフリエダシヤク」というイギリスの小さい「蛾(ガ)」の、かんきょうがかわるたびに羽の色やガラが変わっていくようですが、美しく見やすい絵で学べます。かんきょうが変わってもたくましく生きる姿におどろくはず！！



「病院図書館の青と空」
820908051

講談社
令文 ヒロ子／著


本好きの空花は、体調をこわして入院することになり、病院内の図書館で「さし絵の本」に引っ張り込まれ「アオ」と名乗る少女と出会いました。生きづらさをかかえるふたりの友情をえがいています。



「あした、また学校で」
820864569

講談社
工藤 純子／著


「学校はだれのものなのか？」生徒も先生も、それぞれ異なるかん境に生きてちがう考えを持っている中で、一つの答えを導き出せるのでしょうか。ささいな日常にとつぜんつきつけられた、大きな問いかけをめぐるお話です。



「不思議屋『風待ち』」
820907863

文研出版
西村 友里／作 こがしわ かおり／画


美術部に入った中学生の美音は、異常なまでに絵をきらい母によって美術部を退部させられ家出をした。画廊『風待ち』にたどりつくと、絵画の中へ入りこむという不思議な能力を知り母の秘密も知っていく。



「兄ちゃんは戦国武将！」
820840841

くもん出版
佐々木 ひとみ／作 浮雲 宇一／画


音信不通だった兄から連らくがきて、宮城に向かった春樹。そこで、兄がおもてなし隊のリーダー”伊達政宗”としてかつやくする姿をはずかしく思うが、元気をもたらったという美咲とその祖母の水沢さんと出会い…。



「びわ色のドッジボール」
820907491

文研出版
もりなつこ／作 丹地 陽子／絵

「ぼくは悪くない。悪いのは佑希なのにな…。ぼくの中に広がるいやな感じ…。ぼくは学校を休んで垂水へ向かった。そこで、どのように過ごし、なやみ、どう進んでいくのか…。周りの友達や大人の優しさにふれ、成長していくお話です。」



「あしたへの翼」
おばあちゃんを介護したわたしの春
820904043

汐文社
中島 信子／著

認知しようのおばあちゃんがやってきたことで、バラバラになった家族。かい護を任された6年生の理夢の本当の気持ちは…。
ヤングケアラーの問題を子どもの目線からえがいた作品です。



「ふしぎな図書館と魔王グライモン」
ストーリーマスターズ1
820906055

講談社
廣嶋 玲子／作 江口 夏実／絵


宗介は、図書館でおかしな話になっているグリム童話の本を見つける。話がおかしくなっているのは、魔王グライモンのせい?!なにそれ?!不思議の国で、みんなが知っている物語を救うことになった宗介と、なぞを解きながら一気に読める一冊です。



「核兵器をなくすと世界が決めた日」
820912996

大月書店
川崎 哲／監修・解説 高橋 真樹／文 岩崎 由美子／文 TOTO／絵


かく兵器とは何か知っていますか？日本にのみ落とされた原子ばくだんのことです。今、ロシア対ウクライナの戦争がおきていて、世界平和がおびやかされてきています。しかし、世界では、かく兵器禁止条例に参加する国々が増え続けています。これは世界平和を願い続ける本です(英文も掲載されています)。



「リメイク！」
820909026

フレーベル館
あさだりん／作 いつか／絵

手芸クラブに男の子が入部してきた！それって、おかしなこと？
「男が手芸クラブなんて」そんなことを言う弟の亮太もリメイクしてみせる！手芸クラブすごいって言わせてみせる！！



「香君(上・下)」
820907905/820907897

文藝春秋
上橋 菜穂子／著

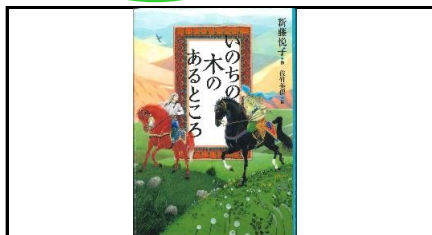
最初は、背景や登場人物が中々頭に入らないと感じてしまうかもしれませんが、読み進めていくうちに、おもしろくて物語に引き込まれてしまいます。
野菜、虫、穀物等全てに関係性があり本当にこんな国があったらいいなと思える作品です。アニメでも観てみたい本です。

中学生
高校生

図書館員がおすすめる本



★発行：志布志市立図書館
★お問い合わせ先：099-472-3322



「いのちの木のあるところ」
820911097

福音館書店
新藤 悦子/作 佐竹 美保/絵

主人公ウーラーンの率直さと芯を持った自由さ、その生き方。フツレムシャとの出会いから結婚、その後の2人の生き方に清々しさを感じます。登場する人物たちが、全てに生き生きとしていて、画面を通して観てみたいと思うほどの物語です。



「マイブラザー」
820901312

ポプラ社
草野 たき/著

イクメン中学生の海斗、それには理由がある。ある日突然父親が会社を辞めてパン屋修行に出たのだ。その事で中学受験をあきらめ、5歳の弟の世話をすることになった。弟のように素直に自分の心が出せたらいい。海斗と周りの友達や家族を考えながら、不安を勇気に変えて未来を見つけて歩き出す物語。ガンバレ！と応援したくなるお話です。



「JK、インドで常識ぶっ壊される」
811534585

河出書房新社
熊谷 はるか/著

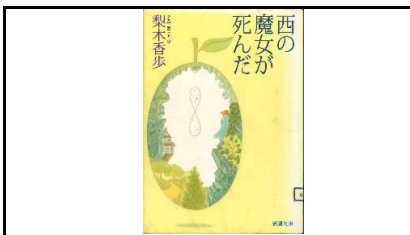
花のJK(女子高生)ライフを夢見ていた女の子が、いきなりインドで暮らすことに・・・！インドって「カレー」の国だね。そんなイメージしか持っていなかった彼女が、インドで経験し、受けた衝撃の記録にあなたも驚くはず。10代の力強く、柔軟で楽しい文章がインドを違った目で見せてくれます。



「願いながら、祈りながら」
811322593

徳間書店
乾 ルカ/著

北の大地の片隅に、ぼつんと残る中学校の分校。一年生4人と三年生1人のたった5人で編成された学校にいる生徒たちの心を描いた物語です。嘘つきと言われる少年、霊感があるという少女、やる気ゼロの教師・・・。小さい学校ならではの悩みや違い、つまづきに直面しながら彼らは前に進み続けます。



「西の魔女が死んだ」
810537506

新潮社
梨木 香歩/著

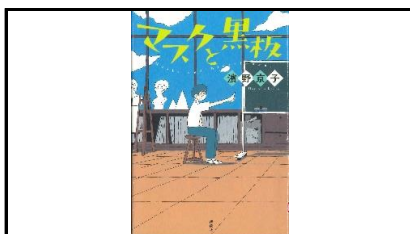
中学生のまいは、クラスになじめず学校を休んでいた。イギリス人である祖母と二人での生活が始まり、自然豊かでスローライフな暮らしにいやされるまい。しばらくして、祖母の家系が魔女であることを知る。



「ほくにだけ見えるジェシカ」
820852036

徳間書店
アンドリュウ・ノリス/作 橋本 恵/訳

ファッションに興味を持ち、孤立している男子生徒のフランシス。ある日、自分しか視えない幽霊のジェシカと出会います。幽霊の少女と過ごす中で、心や生活が変化していく少年少女のお話です。



「マスクと黒板」
820909091

講談社
濱野 京子/作

中学校でもコロナ禍の生活は、マスクをつけてソーシャルディスタンス。学校行事も思うように開催できない。日本中の生徒が経験した。中学生の輝の黒板アートがみんなに元気をあたえていく。このコロナ禍だからこそ自分に置き換えて読んで欲しい本です。



「恋愛問題は止まらない」
820910008

小学館
吉野 万理子/作

「野球部員は来週までに髪を丸刈りにしろ！」と監督が指令を出したという、うわさが流れた。理由は、恋愛がらみらしい。そんな・・・！あの憧れのカレが丸刈りなんて！
多くの登場人物の目線で書かれていて、いろんな角度で読める。あなたはこの中の誰と共通する所がある？



「きみだからさびしい」
811538875

文藝春秋
大前 粟生/著

主人公の圭吾は京都のホテルマン。恋愛や職場でのコミュニケーションの距離感が支配されつつも1人の女性と出会うことで、圭吾の人生が動き始めます。複数のパートナーと親密な関係を持つ「ポリアモリー」に理解を持ちつつ悩みと葛藤する姿がピュアな恋愛小説です。



「ワカレ花」
811542802

双葉社
けんご/著

春夏秋冬の恋模様を描いた物語が全8編。それぞれの物語を読み進めていくと2つのストーリーに繋がっていきます。1ページの文字数が多くないので、本を読むのが苦手な人や、少しずつ読みたい人、久しぶりに読む方にもおすすめの1冊です。